



2021年10月12日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

「未来創生 2号ファンド」
大規模な IoT サービスプロバイダーとして実績のある Unabiz Holdings Pte. Ltd.
への投資実行
—よりスマートな都市のために、大規模なインパクトを生み出す—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」が、Unabiz Holdings Pte.Ltd.への投資を実行しました（金額は非開示）（以下、Unabiz と表記）。Unabiz は、今回の資金調達により、日本、東南アジア、EMEA などの戦略的地域における現地オフィスや M&A によるスケールアップの足場を強化し、また、断片的な IoT データ収集技術と企業システムとの間の顕著なギャップを埋めることができる、業界を変えるデータプラットフォーム“UnaConnect”の成長軌道を維持していきます。

■投資先企業の概要

UnaBiz は、シンガポール、台湾、日本に拠点を置く、実績のあるマッシブ IoT サービスプロバイダーです。同社は、Sigfox、LTE-M、NB-IoT、LoRa などの低消費電力広域（LPWA）技術を組み合わせたセンサー製品の設計、製造、及びクラウドプラットフォームサービスを専門とし、ビジネスの成長を後押ししています。

シンガポール、日本、オーストラリア、台湾を含む 28 カ国でグローバルに 100 万個以上のセンサーを展開してきた UnaBiz は、スマート計測、施設管理、資産管理、資産追跡などのスマートシティアプリケーションに注力しています。

UnaBiz は、“Less is More ”という考え方のもと、シンプルなテクノロジーを駆使して、人や組織が密接につながった世界を思い描いています。同社のミッションは、アジリティと創意工夫をもって、顧客やパートナーのためにデータ駆動型のビジネス効率を加速させることです。人とテクノロジーを結びつけることで、UnaBiz は大規模なインパクトを生み出し、地球上のすべての人とすべての組織がよりスマートに、よりシンプルに、そしてより持続可能な方法で生活できる手助けをしたいと考えています。

■「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。2021 年 9 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、883 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>



- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com